

コロナ禍を越え、再びホールに響く「天使の歌声」

2023 来日メンバー (ハイドン組)

©lukasbeck



これまで毎年来日を果たしていたウィーン少年合唱団ですが、コロナ禍以降、日本を含めた海外公演が軒並み中止となりました。

活動に大きな制限がかけられた中、彼らは2021年に様々な文化の中から生まれ、世界中で愛され歌い継がれているヒット・ソングを集めた新譜「Together」をリリース。

そして2022年終盤には念願の海外公演となるアメリカツアーを敢行し、その癒しの歌声が現地で改めて絶賛され、さらには2023年のウィーン・フィルハーモニー管弦楽団ニューイヤー・コンサートにも出演する等、活動の幅を徐々に広げてきました。

そしてどれだけ、この時を待っていたことか…ウィーン少年合唱団、4年ぶりの来日公演がついに決定です!あの“天使の歌声”が再び横浜みなとみらいホールに響き渡ります。

10歳から14歳のメンバーは全員アウガルテン宮殿での全寮制で生活しており、ハイドン、モーツァルト、シューベルト、ブルックナーという合唱団にゆかりのある作曲家の名がついた4つのグループに分かれて活動。2023年に来日するのはハイドン組です。今回も中世音楽から最近の日本のヒット曲まで、多彩なレパートリーを披露する予定。再び国境を越えて響く“天使の歌声”を、心行くまでご堪能ください!

Wiener Sängerknaben